

第9学年3組 英語科学習指導案

日時 令和元年6月14日 4校時

1 単元名 *NEW HORIZON English Course 3 Unit 3 Fair Trade Event*

2 単元の目標

- 地域の課題解決のために自分が取り組みたいことについて、まとまりよく紹介する。
【外国語表現の能力】
- 聞き手が理解しやすくなるように工夫して話す。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 現在完了形（経験用法，完了用法），不定詞（原因を表す副詞的用法）を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

3 授業の構想

- (1) 本単元では，題材にフェアトレードが取り上げられており，社会的な話題について考えを深めることができる。Starting Out では，現在完了形の経験用法を用いて，話題を提示する際に相手の興味をひく表現が示されている。また，Read and Think では，社会にある実態とそれによって起こる問題，それを解決する方法という構成で文が書かれている。そのため，身の回りの課題について問題提起したり，それを解決するためにどうすればよいのかについて自分の考えを伝えたりするのに適した単元であると考えられる。
- (2) 本学級の生徒は，英語を使って自分の考えや気持ちを表現する活動に継続的に取り組んできた。その中で，始めから正確かつ流暢に話したり書いたりできなくても，自分が知っている語彙や表現を何とか駆使して伝えようとする姿勢が多くの生徒に見られる。一方で，言語に対する知識はあっても，話す内容がすぐに思いつかないために，設定された活動時間内には自分のことを表現できない生徒もいる。コミュニケーションを図る際には，話題を他教科の学習に関わることと結びつけるなどして，自分の考えや気持ちを表現しやすい工夫をする必要がある。
- (3) 本校では，未来創造科（総合的な学習の時間）に，地域の良さや課題を発見し課題解決について考える「住みたいまちプロジェクト」に取り組んでいる。9年生では社会参画活動として，9月に実際に自分が考えた活動を実施する。それに向けて，自分が取り組もうと考えている活動を紹介し，アドバイスをもらうことを本単元の目標とする。紹介する相手は，外国から島根に来て住んでいる ALT や島根大学の留学生とし，様々な視点からアドバイスをもらえるようにする。また，紹介する際には，相手が島根のどのようなところを良い点・課題点だと思っているのか，どのような困った経験をしてきたか等をたずねながら紹介できるようにしたい。そのため，単元を通して即興でコミュニケーションする活動を取り入れていきたい。

4 単元の評価規準

(1) 単元の評価計画

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 (話すこと・言語活動への取組)	地域の課題解決のために自分が取り組みたいことについて、まとまりよく紹介することができる。 (話すこと・適切な発話)	/	① 現在完了形（経験用法）を用いた文の構造を理解している。 ② 現在完了形（完了用法）を用いた文の構造を理解している。 ③ 不定詞（原因を表す副詞的用法）を用いた文の構造を理解している。 (書くこと・言語についての知識)

(2) 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連（第9学年）

聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
未習の単語を含む社会的な話題についての英語を聞いて、要点および概要を理解することができる。	400語程度のまとまりのある文を、行間の意味（人物の心の動きやその背景など）を考えながら読み取ることができる。	① 関心のあるテーマについて、内容を具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができる。【発表】 ② あるテーマについて、相手の意見を受けて自分の考えを述べながら議論することができる。【やり取り】 ③ その場で提示される情報をふまえて、相手を意識しながら表現を工夫して対話することができる。【やり取り】	① 目的や相手に応じて、辞書を活用するなどして、10文以上のまとまりのある英文を書くことができる。 ② 聞いたり、読んだりした内容について、自分の意見やその理由を加えて書くことができる。

5 単元の指導計画と評価計画（全9時間 本時1/9）

時	○ねらい ・主な学習活動	評価				
		関	表	理	言	評価方法（総括的評価）
1 本時	○現在完了形の経験用法を用いた文の構造を理解する。 ・教師とALTのやり取りから、経験用法の文の構造に気付く。 ・経験用法を用いて、島根のおすすめについて対話する。（生徒同士→ALT） ・経験用法の文構造を理解し、島根のおすすめについて書く。				○	後日ペーパーテスト
	○本単元で身に付ける技能や学習内容を知る。 ・教師のモデルをきいて、見通しをもつ。					
2	○現在完了形の完了用法を用いた文の構造を理解する。 ・経験用法を用いて、島根の課題について対話する。 ・教科書本文（Dialog）を通して、完了用法の使い方を理解する。				○	後日ペーパーテスト

3	○現在完了形の3つの用法について理解する。 ・それぞれの用法が実際にどのような場面で使われるのかを確認しながら、3つの用法について整理して理解する。				○	後日ペーパーテスト
4	○フェアトレードについて理解する。 ・教科書本文(Starting OutとRead and Think1)を読み、フェアトレードについて理解する。 ・フェアトレードについて読んだ感想・意見を発表する。	○				後日パフォーマンステスト
5	○不定詞(原因を表す副詞的用法)を用いた文の構造を理解する。 ・教科書本文(Read and Think2)を通して、不定詞(原因を表す副詞的用法)の使い方を理解する。 ・不定詞(原因を表す副詞的用法)の文を使えるように練習する。				○	後日ペーパーテスト
6	○「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組みたいことについて話す。(準備・練習) ・「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組みたいことについて、Read and Think1の構成にならってペアで紹介し合う。 ・実態・課題・解決への提案を取り入れて話しているか、ペアでアドバイスし合う。	○	○			後日パフォーマンステスト
7	○「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組みたいことについて話す。(準備・練習) ・第1・2・6時で取り組んだ活動を参考にし、相手の興味をひく工夫を取り入れる。 ・聞き手が理解しやすくなるように、絵や図、グラフを見せながら話す練習をする。	○	○			後日パフォーマンステスト
8	<パフォーマンステスト>	○	○			パフォーマンス
9	○ALTに「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組みたいことについて話し、アドバイスをもらう。					テスト

※後日、島根大学の留学生に、「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組みたいことについて話し、アドバイスをもらう。

5 本時の学習

(1) ねらい

現在完了形(経験用法)を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	指導上の留意点
1. Warm Up (1) Greeting (2) English Song 2. 教師とALTのやり取りから、「～したことがありますか」と言う表現の仕方に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題を取り入れることで、意味を推測しやすくする。 ・ターゲットセンテンスをプレゼンテーションソフトで示し、文構造に気付けるようにする。 ・現在完了形(経験用法)を用いて生徒にも質問することで、意味が理解できているか確認する。

に島根のオススメを伝えよう

3. 島根のお勧めについて伝える。

(1)ペアで話す。

(2)挙手で と対話する。

(3)話題を変えてペアで話す。

(4)挙手で 生と対話する。

4. 文構造について確認する。

5. 英文を書くことで本時を振り返る。

5. 単元の見通しをもつ。

- ・新出の文法を、意味ある文脈の中で使いながら定着できるように、場面を設定する。
- ・ペアのうち一方は先生になりきり、～したことがあるかと言う質問に対して Yes の場合と No の場合のどちらにも対応して対話を続けられるようにする。
- ・必要に応じて、絵を用いて説明してもよいこととする。
- ・途中「言いたかったけれど言えなかった表現」について共有する。
- ・過去形で表現した方が適切である場面が出てきた際には、記録しておき次時以降に全体で確認する。

- ・ここまでの活動において口頭で表現したことを書くことで、文構造に注目できるようにする。

— 評価の観点 —

現在完了形（経験用法）を用いた文の構造を理解している。【評価方法 発言、ワークシート】

- ・単元のゴールとなるモデルを示し、この単元で身に付ける技能や学習内容について見通しをもたせる。

(3)評価（本時は形成的評価）

「おおむね満足できる」と判断される状況	努力を要する状況への手立て
<p>Have you ever 過去分詞～？の文構造を使って発話したり書いたりしている。</p> <p>例：Have you ever seen sunset on Lake Shinji? 冠詞の脱落や前置詞の誤りについては本時は評価の対象としない。</p>	<p>Have you ever visit Matsue Castle? のように、現在完了形の文構造に誤りがある場合、発話の際に教師が言い直したり、書かれた英文を訂正したりする。また、多かった誤りがあれば、次時に全体で共有する。</p>

6 本単元の評価（外国語表現の能力について）

十分満足できると判断される状況	おおむね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
<p>「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組んでいることについて、まとまりよく（課題、改善のための活動案、その利点）紹介することができる。</p>	<p>まとまり（課題、改善のための活動案、その利点）にはやや欠けるものの、「住みたいまちプロジェクト」で自分が取り組んでいることについて、紹介することができる。</p>	<p>振り返りシートに記録された内容に応じて、アドバイスを記入する。また、第6・7時でペアの相手や教師がアドバイスして改善できるようにする。</p>